

レトロゾール錠「日医工」による 治療を受けられる方とご家族の方へ

ー ホルモン療法と服用上の注意点 ー



[監修]

聖マリアンナ医科大学 外科学
乳腺・内分泌外科 教授

津川 浩一郎 先生

はじめに

ホルモン療法は、「ホルモン感受性乳がん」の患者さんにとって効果的な治療法であることが知られており、レトロゾール錠2.5mg「日医工」による治療もそのホルモン療法の一つとなっていきます。

この冊子は、レトロゾール錠2.5mg「日医工」による治療を始められる患者さんとご家族に、乳がんのホルモン療法とお薬の効果や副作用について理解を深め、安心して治療を続けていただきたいとの思いで作成したものです。

皆様の生活の質が良くなることをお祈りします。

[監修]

聖マリアンナ医科大学 外科学
乳腺・内分泌外科 教授

津川 浩一郎 先生

目 次

1	ホルモン療法って、どんな治療法? ······	1
	●エストロゲンとホルモン感受性乳がん	
	●エストロゲンの作用を抑えるホルモン療法	
	●ホルモン療法で効果が期待できる人は?	
2	エストロゲンはどのように作られるの? ······	5
3	レトロゾール錠2.5mg「日医工」は どのようなお薬? ······	7
4	レトロゾール錠2.5mg「日医工」による 術後ホルモン療法とは? ······	9
5	タモキシフェンによる治療終了後に、 レトロゾール錠2.5mg「日医工」を服用する 場合もあるの? ······	10
6	レトロゾール錠2.5mg「日医工」による 進行乳がんや手術後の再発乳がんの治療とは? ······	13
7	レトロゾール錠2.5mg「日医工」の副作用とは? ······	15
8	このような症状があらわれたときには、 担当の医師に相談してください。 ······	17
9	レトロゾール錠2.5mg「日医工」を服用中に 特に注意することは? ······	18
10	そのほかに、日常生活で気をつけることは? ······	19
11	レトロゾール錠2.5mg「日医工」の 服用方法・注意点は? ······	20

フリースペース

1

ホルモン療法って、どんな治療法？

●エストロゲンとホルモン感受性乳がん

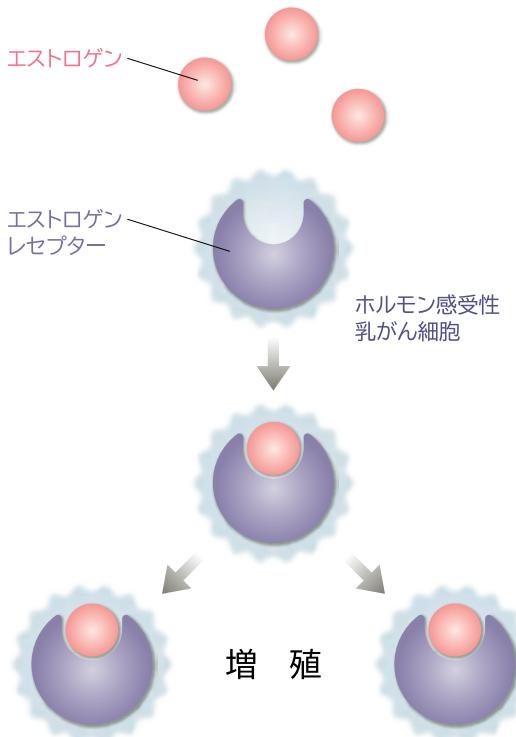
女性ホルモンには、「エストロゲン（卵胞ホルモン）」と「プロゲステロン（黄体ホルモン）」の二つのホルモンがあります。

乳がんには、エストロゲンの働きで増殖するものと、そうでないものがあります。エストロゲンの働きで増殖する乳がんを「ホルモン感受性乳がん」と呼び、乳がん全体の6～7割を占めています。

ホルモン療法は、エストロゲンの作用を抑え、ホルモン感受性乳がん細胞の増殖を抑える治療法です。



「ホルモン感受性乳がん」の増殖のしくみ



エストロゲンがホルモン感受性乳がん細胞内部のエストロゲン受容体（エストロゲンレセプター）と結合すると、乳がん細胞が増殖しはじめ、乳がんが大きくなります。

●エストロゲンの作用を抑えるホルモン療法

ホルモン療法は、お薬により体内のエストロゲンの量を減らしたり、作用を抑えたりすることにより、ホルモン感受性乳がんの増殖を抑える治療法です。

ホルモン療法は、抗がん剤治療に比べると副作用が少なく、体への負担が軽いため、ホルモン感受性乳がんに対して重要な治療法のひとつとなっています。

ホルモン療法では、乳がん細胞の数が少しづつ減少していくため、あせらず、治療を続けていくことがとても大切になります。



● ホルモン療法で効果が期待できる人は？

手術などにより取り除いた乳がん細胞に、女性ホルモン（エストロゲン、プロゲステロン）を感知する「ホルモン受容体（エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体）」がどの程度存在するかを調べることにより、ホルモン療法による効果の程度が分かります。

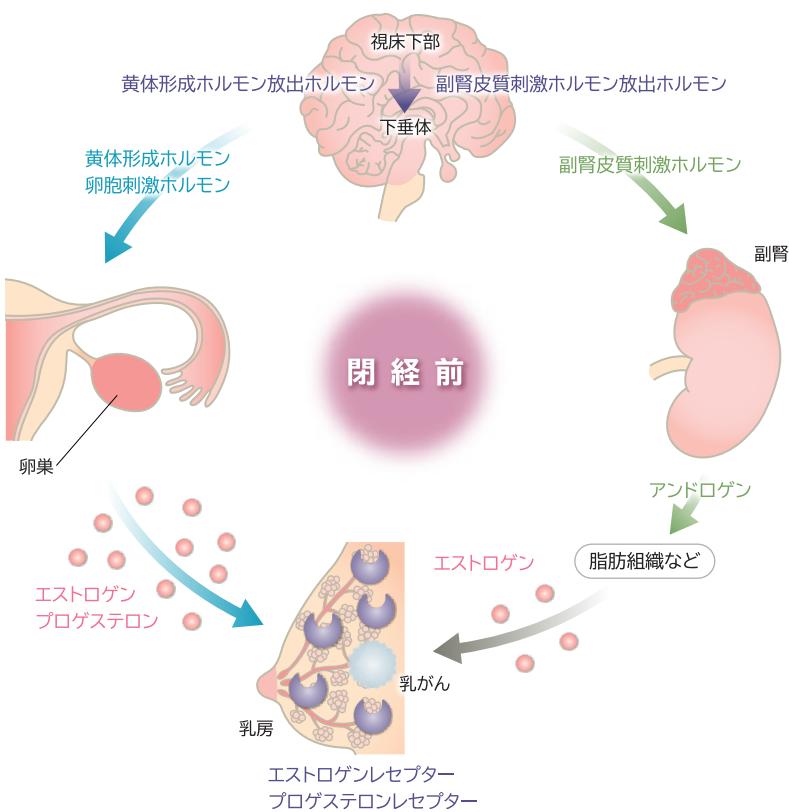
エストロゲン受容体とプロゲステロン受容体の両方、またはいずれかの存在が確認された場合、ホルモン療法の効果を期待することができます。



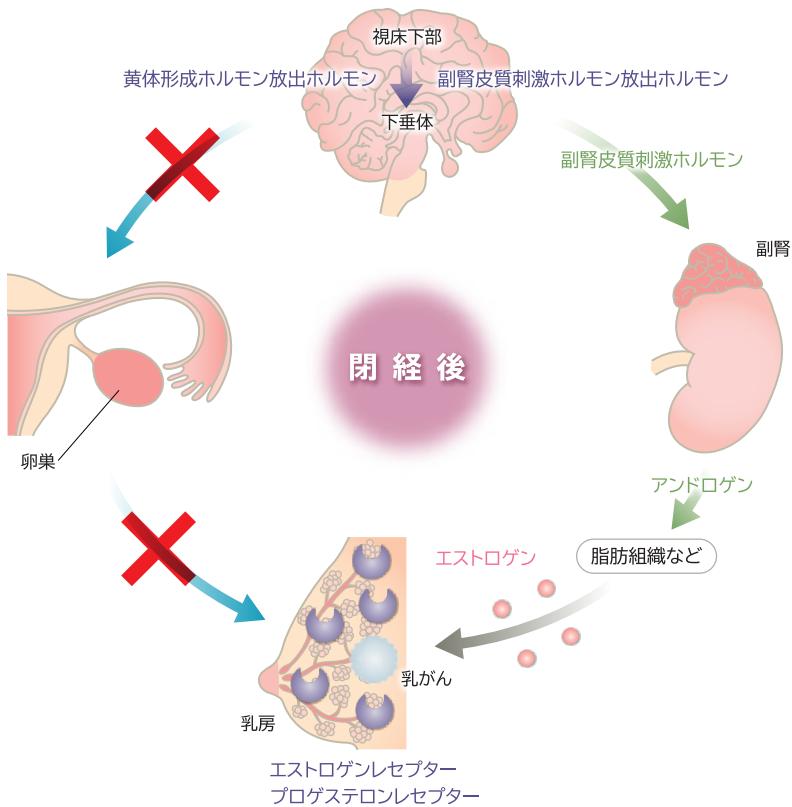
2

エストロゲンは どのように作られるの？

女性は、思春期になると、卵巣からエストロゲンを豊富に分泌するようになります。また、わずかですが、脂肪組織などでも男性ホルモン（アンドロゲン）からエストロゲンを作り出しています。



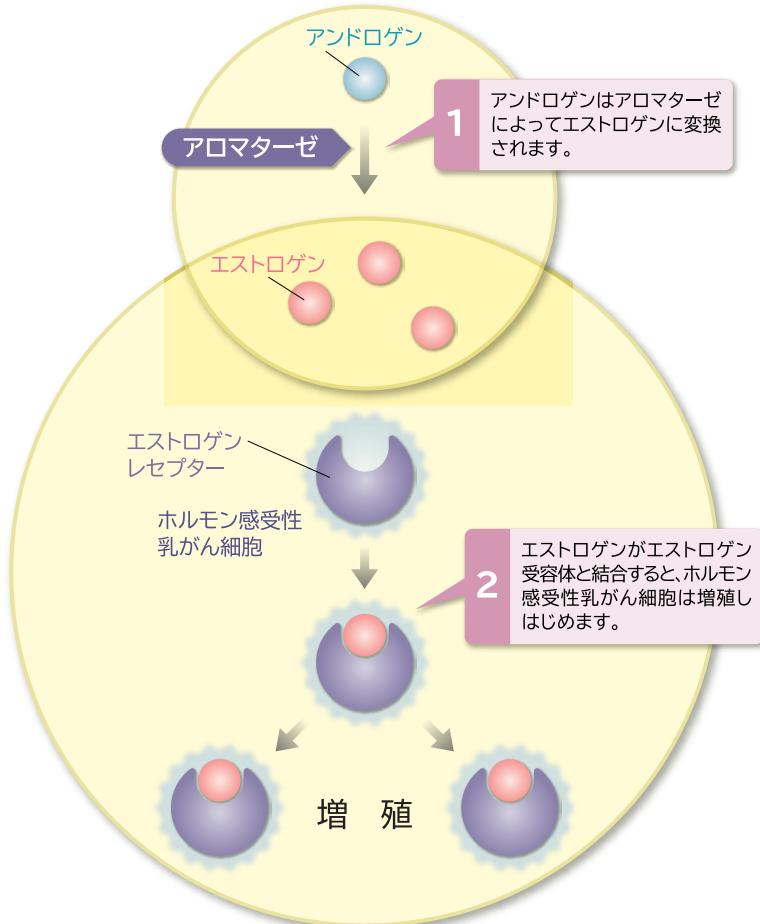
閉経後は、卵巣からのエストロゲンの分泌が止まるため、エストロゲンは主に脂肪組織などから作られることになります。脂肪組織などでは、副腎から分泌されるアンドロゲンがアロマターゼと呼ばれる酵素によりエストロゲンに変換されます。(次頁を参照ください。)



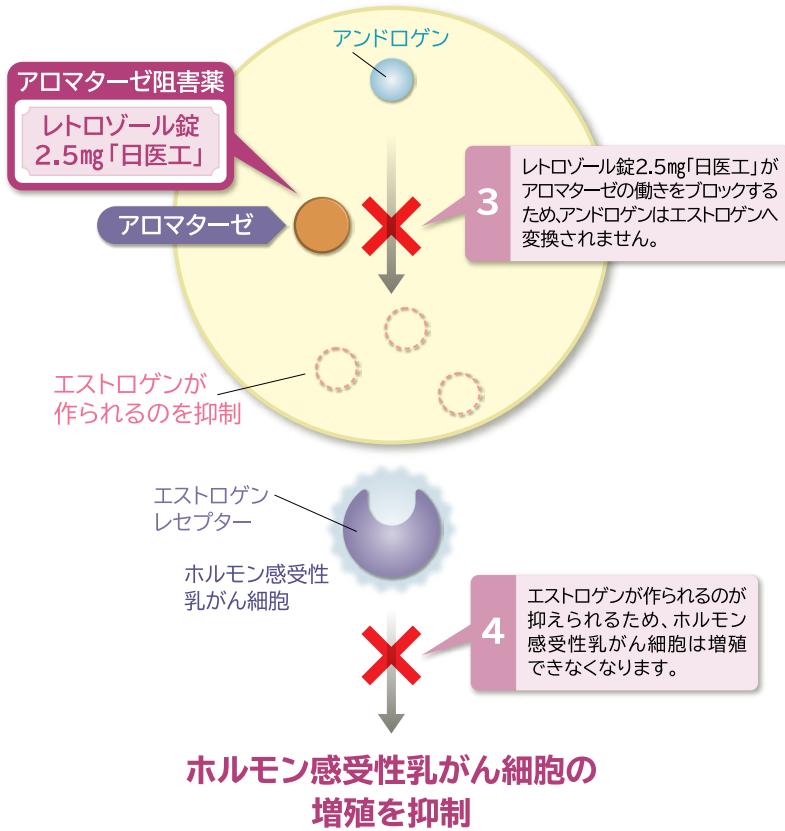
3

レトロゾール錠2.5mg「日医工」は どのようなお薬？

レトロゾール錠2.5mg「日医工」は、脂肪組織などのアロマターゼの働きをブロックし、エストロゲンが作られるのを抑えるアロマターゼ阻害薬です。



レトロゾール錠2.5mg「日医工」の作用



4

レトロゾール錠2.5mg「日医工」による術後ホルモン療法とは？

術後ホルモン療法は、手術直後から服用を始め、手術後の再発を抑えるために行われる治療です。レトロゾール錠2.5mg「日医工」は閉経後ホルモン感受性乳がんの術後ホルモン療法に用いられます。

— 術後ホルモン療法でのお薬の服用期間 —

ホルモン感受性乳がんは、ほかのがんに比べると進行がゆっくりしているといわれています。このため、再発を考慮して長期間の服用が必要になります。

治療期間は一般的にレトロゾール錠2.5mg「日医工」を5年間（最長10年間）服用します。

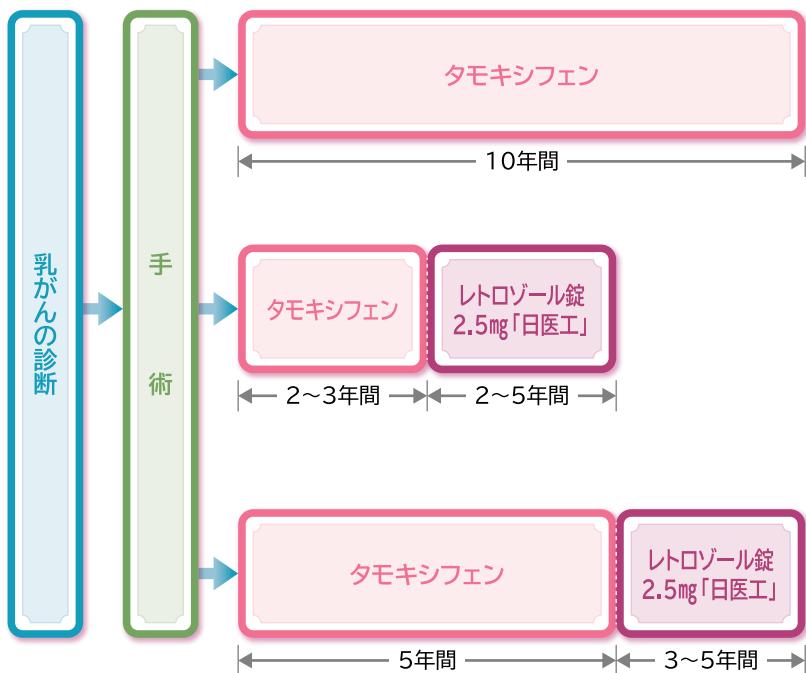
また、レトロゾール錠2.5mg「日医工」を2年間服用したのち、抗エストロゲン剤のタモキシフェンを3年間服用する場合もあります。



5

タモキシフェンによる治療終了後に、レトロゾール錠2.5mg「日医工」を服用する場合もあるの？

術後ホルモン療法をタモキシフェンにより開始した場合、治療終了後に、レトロゾール錠2.5mg「日医工」により治療を続ける場合があります。



●レトロゾール錠2.5mg「日医工」と 抗エストロゲン剤（タモキシフェン）の違いは？

抗エストロゲン剤（タモキシフェン）とレトロゾール錠2.5mg「日医工」は作用が異なるお薬です。

抗エストロゲン剤は、がん細胞がエストロゲンを取り込むのを抑えるお薬で、閉経前・閉経後の患者さんに用いられます。

一方、レトロゾール錠2.5mg「日医工」は、体内でエストロゲンが作られるのを抑えるお薬で、閉経後の患者さんに用いられます。

タモキシフェン

●閉経前・閉経後

レトロゾール錠2.5mg「日医工」

●閉経後



6

レトロゾール錠2.5mg「日医工」による 進行乳がんや手術後の 再発乳がんの治療とは？

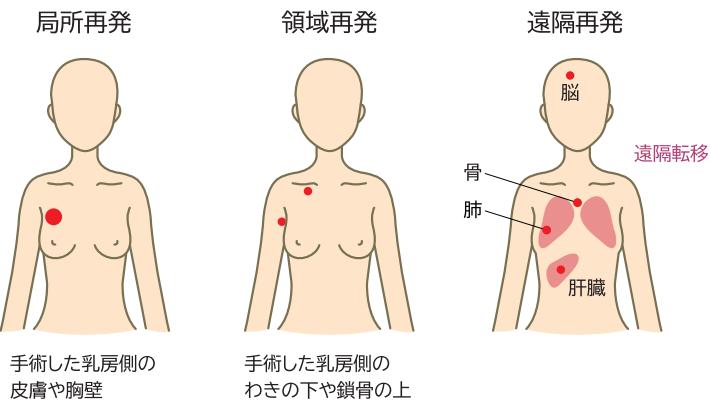
乳がんの患者さんの中には、手術後しばらくたって再発したり、最初に受診されたときに、すでに進行している患者さんもおられます。

レトロゾール錠2.5mg「日医工」は、ホルモン感受性の乳がんであればこのような再発した患者さんや、すでに進行している患者さんにおいても、がんの進行を抑えたり、症状をやわらげることが期待できます。

進行乳がん → 病勢が進行した乳がん

再発乳がん → 手術後、再び現れた乳がん

— 再発・転移しやすいところ —



● レトロゾール錠2.5mg「日医工」は、
がんの進行を抑えたり、症状をやわらげる
治療に用いられます。

再発・転移の部位	主な症状
骨	痛み、骨折（転移を起こしやすい骨の部位：脊椎、肋骨、骨盤、大腿骨、上腕骨など）
局所・リンパ節	しこり
肺	咳、息切れ、動悸
肝臓	おなかが張る、みぞおちの圧迫感、黄疸

7

レトロゾール錠2.5mg「日医工」の副作用とは？

レトロゾール錠2.5mg「日医工」の主な副作用は以下の通りです。その症状や現われ方には個人差があります。

関節のこわばり、関節痛

手指、手首、ひじ、ひざなどの体の節々がこわばったり痛んだりすることがあります。起床時に床の中で十分に体を動かしてから起きると「こわばり」が軽くなることもあります。痛む場合には痛み止めのお薬による治療を行うことがあります。



ほてり

のぼせたり、汗をかきやすくなったりすることがあります。体を締めつけない服装や脱いだり、着たりしやすい服装などで工夫してみましょう。



頭 痛

頭痛がすることがあります。痛みはさまざままで、個人差がありますが、気になるときは担当の医師または薬剤師に相談してください。



吐き気

気持ちが悪くなったり、吐き気が起きることもあります。吐き気がひどい場合は、担当の医師または薬剤師に相談してください。



その他

発疹、かゆみ、めまいなどが起きることがあります。



8

このような症状があらわれたときには、
担当の医師に相談してください。

肺塞栓症、狭心症、心筋梗塞のうたがい

発汗、息切れ、胸の圧迫感、
胸の痛みなど



脳梗塞のうたがい

頭痛、吐き気、しゃべりにくい、
手足や顔の麻痺など



中毒性表皮壊死症、多形紅斑のうたがい

発熱、関節の痛み、
赤い発疹や水ぶくれなど



心不全のうたがい

体がだるい、全身のむくみ、
息切れなど



肝機能障害、黄疸のうたがい

体がだるい、食欲不振、
皮膚や白目が黄色いなど

9

レトロゾール錠2.5mg「日医工」を服用中に特に注意することは？

- レトロゾール錠2.5mg「日医工」は骨密度を低下させる場合があります。

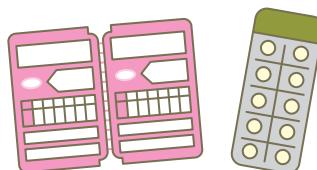
骨からカルシウムが失われ、症状が進むと腰や背中が痛むことがあります。また、骨折の危険性も高くなります。レトロゾール錠2.5mg「日医工」の服用中は、定期的な検査（年1回程度）を受けて骨の状態を確認します。

日頃から、カルシウム、ビタミンD、ビタミンKの多い食事や適度な運動などを心がけましょう。

骨の形成に必要な栄養素

	摂取目標値／日	含量の多い食品
カルシウム	800mg以上	牛乳、乳製品、小松菜、チングン菜、大豆製品、小魚、干し海老 など
ビタミンD	400~800IU (10~20μg)	きくらげ、サケ、ウナギ、サンマ、メカジキ、カレイ など
ビタミンK	250~300μg	卵、納豆、ほうれん草、小松菜、にら、ブロッコリー、サニーレタス、キャベツ など

骨密度測定の結果、必要に応じてお薬を使用することもあります。



そのほかに、日常生活で気をつけることは？

- 無理をしないで、いつも通りの生活をしてください。

- 食事、飲酒、禁煙のこと

バランスのとれた食事を心がけ、お酒はほどほどにしましょう。喫煙は健康を害するおそれがありますので控えてください。

- 眠気があらわれたり、意識がぼんやりすることがありますので、自動車の運転や危険を伴う機械を操作するときには注意してください。

- レトロゾール錠2.5mg「日医工」は、直射日光を避け、涼しいところに保管してください。また、子供の手の届かないところで保管してください。

11

レトロゾール錠2.5mg「日医工」の服用方法・注意点は？

通常、1日1錠を毎日服用します。

担当の医師の指示を守って服用しましょう。

服用期間は、患者さんによって異なりますので、担当の医師の指示に従ってください。

自分の判断で服用を勝手にやめたり、服用方法をかえてはいけません。





お薬を飲み忘れてしまったときには どうしたら良いですか？

服用を忘れた場合は、同じ日のうちに気がついたとき、できるだけ早く服用してください。翌日になって気がついたときは忘れた分を服用せず、1回分のみを服用してください。

忘れてしまったからといって、一度に2回分を服用してはいけません。



あやまって多く服用してしまったときには？

あやまって多く服用してしまった場合は、担当の医師、薬剤師に相談してください。



その他の服用時の注意点

次のような患者さんは、服用前に担当の医師に相談してください。

- 以前にお薬を飲んで発疹などが出たことのある人
- 肝臓や腎臓に病気がある人

- ほかの医療機関を受診する場合や薬局で薬を買う場合は、レトロゾール錠2.5mg「日医工」を服用していることを医師や薬剤師に伝えてください。

- 高齢の方は特に担当の医師の指示を守って服用してください。

▶ 術後の定期検診は必ず受けてください

定期検診は必ず受けましょう。乳がんの手術を受けた患者さんの中には、しばらくたって再発するケースもあります。

このため、定期的に診察を受けることが大切です。

手術後3年間は、3~6ヵ月ごと、4~5年目は、6~12ヵ月ごと、5年以降は年1回の問診・視触診が推奨されています。

万が一、乳がんが再発した場合でも、適切な治療を行うことで、治療効果をあげることが期待できますので、定期的な診察は必ず受けるようにしてください。定期検診の時期は個人によって違いがありますので、担当の医師と相談してください。



フリースペース



気づいたことや疑問に思ったことなど、何でも自由に書き留めておきましょう。また、分からぬことがあつたら、主治医、薬剤師、看護師などの医療スタッフにたずね、書き留めましょう。



医療機関名